

第1日目 4月16日(土)

11:00	理事会・評議員会	
13:00	開会挨拶 学会長・吉田 憲司、 当番校 国際ファッション専門職大学学長・近藤 誠一	
13:15～16:35	シンポジウム	司会：金谷 美和
13:15～13:20	趣旨説明	金谷 美和 (文化人類学)
13:20～13:50	報告1 石器づくりという手仕事と人類の進化	門脇 誠二 (考古学)
13:50～14:20	報告2 手仕事とジェンダー：〈女の手〉が意味するもの	中谷 文美 (文化人類学)
14:20～14:30	休憩 (10分)	
14:30～15:00	報告3 手仕事とつながる森	竹田 晋也 (森林科学)
15:00～15:30	報告4 ナショナリズムと手仕事： インドにおけるファッションの力	豊山 亜希 (美術史)
15:30～15:40	休憩 (10分)	
15:40～16:00	コメント	田中 雅一 (文化人類学)
16:00～16:35	討議	
16:35～16:45	休憩 (10分)	
16:45～17:30	総会 第19回木村重信民族芸術学会賞授賞式	

第2日目 4月17日(日)

10:00～12:35	一般発表	
10:00～10:35	明治期の外国人音楽教師ルドルフ・ディットリヒの楽譜集における浮世絵 —『Nippon Gakufu』(1894; 1895)と『Rakubai』(1894)を中心に—	黒川 真理恵 (音楽)
10:40～11:15	「女馬子」像の創出と変遷に関する一考察： 「女馬子唄」はどこから来たのか	海野 るみ (文化人類学)
11:20～11:55	大恐慌期のWLS カントリー系ラジオ番組にあらわれた女性像の分析	三間 美知太郎 (音楽)
12:00～12:35	琉球舞踊の役柄と身体表現におけるジェンダーフリーについて	樋口 美和子 (舞踊)
12:35～13:30	休憩 (55分)	
13:30～16:05	一般発表	
13:30～14:05	北アメリカ北西海岸先住民アートの新たな展開	岸上 伸啓 (民族学)
14:10～14:45	現代スィック教社会における偶像崇拜論争： 教主の肖像画と表象をめぐる言説と実践	池田 篤史 (美術)
14:50～15:25	村上隆「スーパーフラット三部作」のキュレーションについて —アンディ・ウォーホルの「反復」との相関から—	中谷 裕子 (美術)
15:30～16:05	研究対象としての「おかんアート」 —美学、社会学、人類学からの検討	柴田 惇朗 (社会学) 他3名 (藤本・坂本・竹田)
16:05～16:20	休憩 (15分)	
16:20～18:15	一般発表	
16:20～16:55	縄文・弥生・古墳時代における土器の「文様破調」について	石井 匠 (考古)
17:00～17:35	下絵から手わざを見つめる グエン・ファン・チャン《籐を編む》についての一考察	益田 ひかる (芸術学)
17:40～18:15	予祝芸能としての「ひんごこ舞」再考 —農人形の分析から—	山中 海瑠 (民俗)
18:15～	閉会の挨拶	
18:30～	オンライン懇親会	